

「大館曲げわっぱ150年の森育成事業に参加しました！」

令和7年7月17日（木）に開催された、令和7年度「大館曲げわっぱ150年の森育成事業」に当署職員4名と上小阿仁支署職員3名が参加しました。

天然秋田杉の供給停止に伴い、これに替わる秋田杉人工林の育成を行い、伝統工芸品「大館曲げわっぱ」を次世代へ継承していくとともに、ふるさとキャリア教育の一環として、地元小学生が下刈りや除伐等の体験を通じて地元の伝統文化と森林環境保全・教育保護を大切に思うところを育むことを目的として、大館市の主催により、地元小学校や北鹿地域林業成長産業化協議会等の協力のもと開催されました。

当日は好天に恵まれ、早口小学校、山瀬小学校6年生計25名が下刈りと除伐の林業体験を行い、刈込ばさみや鋸を使って熱心の下刈り・除伐を行いました。

その後、山瀬ダムサイトに移動し、当署森林技術指導官による森林教室を開催し、森林の役割や林業についてクイズ形式の学習を行い、児童たちは真剣に話に耳を傾けていました。

当署では今後も森林・林業等への理解や環境教育のほか、地元の伝統的文化への理解を深めるため、関係機関と協力していく考えです。



開会式の様子



下刈作業の体験



除伐作業の体験



とてもきれいな切り口



森林教室の様子



150年後の姿？